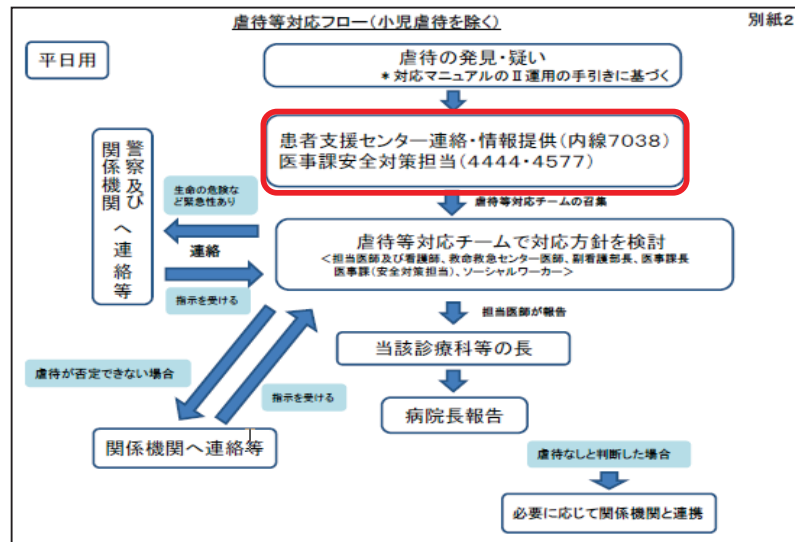


「虐待対応マニュアル」を作成しました。内容について一部分紹介します。詳しくは病院運営マニュアルの「虐待対応」にアップされています。
救急看護認定看護師 吉田亜希子・川越由紀（救命救急センター）

小児虐待を除く高齢者虐待、障害者虐待および配偶者暴力およびその他の虐待が疑われる患者さんに、関係法令等の趣旨に沿って迅速かつ適切に対応し、患者さんの身体的安全確保と心理的外傷の防止等の支援を行う目的で使用します。

「虐待対応マニュアル」から抜粋 虐待等対応フローと成人虐待等アセスメントシート



虐待を疑ったら、まず別紙2
 「虐待等対応フロー（小児虐待を除く）」に沿って対応しましょう！
 まずは、赤枠内の2ヶ所にそれぞれ連絡をしましょう。
 平日用と夜間用があります。

患者基本情報		来院情報	
ID	フリガナ	受領日時	来院日時
性別	年齢	年 月 日 () 時間 ()	年 月 日 () 時間 ()
生年月日	誕生日	入院科	入院室
受診理由	身体的状況	身体的状況	身体的状況
<input type="checkbox"/> 骨折 <input type="checkbox"/> 打撲・挫傷 <input type="checkbox"/> 腫水 <input type="checkbox"/> 創傷 <input type="checkbox"/> 顔面不明 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 意識障害 <input type="checkbox"/> 瞳孔異常 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 意識障害 <input type="checkbox"/> 瞳孔異常 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 衣服で見えないような部位に皮下出血や傷がある <input type="checkbox"/> 急に怪しい、悲しげな表情がある <input type="checkbox"/> 「家に帰りたくない」という訴えがある <input type="checkbox"/> 衣服や身体が汚れたままの状態である <input type="checkbox"/> 疾患の症状が明白であったにもかかわらず受診しない <input type="checkbox"/> 就業状況が不良である <input type="checkbox"/> 感情の起伏が激しい <input type="checkbox"/> 自傷行為がある <input type="checkbox"/> 無力感があり、表情が乏しい <input type="checkbox"/> 不自然な歩行や姿勢を保持することが困難 <input type="checkbox"/> 車門や洗濯機からの出血や傷がある <input type="checkbox"/> 利用負担のあるサービスを利用していない <input type="checkbox"/> 自由に使えるお金がないと訴える	<input type="checkbox"/> 前頭葉が縮小 <input type="checkbox"/> 聴覚野が変形 <input type="checkbox"/> 親のDVを目撃 <input type="checkbox"/> 視覚野が縮小	<input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況	<input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況
<input type="checkbox"/> 不自然な状況説明 <input type="checkbox"/> 説明内容が度々変わる <input type="checkbox"/> 患者の手帳や疾患に関心が無い <input type="checkbox"/> 患者に対して真意が感じられない <input type="checkbox"/> 患者に対して冷淡態度や無関心さがある <input type="checkbox"/> 病院関係者に対し攻撃的 <input type="checkbox"/> 患者の世話や介護に対し拒否的な発言がある <input type="checkbox"/> 医療者の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがある <input type="checkbox"/> 経済的に余裕があるのに、患者に対してお金を掛けようとする	<input type="checkbox"/> 前頭葉が縮小 <input type="checkbox"/> 聴覚野が変形 <input type="checkbox"/> 親のDVを目撃 <input type="checkbox"/> 視覚野が縮小	<input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況	<input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況
<input type="checkbox"/> 同伴者の状況(様子) <input type="checkbox"/> 不自然な状況説明 <input type="checkbox"/> 説明内容が度々変わる <input type="checkbox"/> 患者の手帳や疾患に関心が無い <input type="checkbox"/> 患者に対して真意が感じられない <input type="checkbox"/> 患者に対して冷淡態度や無関心さがある <input type="checkbox"/> 病院関係者に対し攻撃的 <input type="checkbox"/> 患者の世話や介護に対し拒否的な発言がある <input type="checkbox"/> 医療者の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがある <input type="checkbox"/> 経済的に余裕があるのに、患者に対してお金を掛けようとする	<input type="checkbox"/> 前頭葉が縮小 <input type="checkbox"/> 聴覚野が変形 <input type="checkbox"/> 親のDVを目撃 <input type="checkbox"/> 視覚野が縮小	<input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況	<input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況 <input type="checkbox"/> 身体的状況
記入日時	記入日時	記入日時	記入日時
担当医師	担当医師	担当医師	担当医師
担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師

次に虐待を疑ったら、「成人虐待等アセスメントシート」に沿って、観察しましょう！
 患者の状況だけでなく、同伴者の状況など確認する項目があります。

「End-Of-Lifeにある患者・家族の標準看護計画」のご案内

小児救急看護認定看護師 野崎久美（4階東病棟）
 緩和ケア認定看護師 西村亜希（がん診療部）

緩和ケア認定看護師と「End-Of-Lifeにある患者・家族の標準看護計画（成人・小児）」を作成しました。

End-Of-Life Careとは、病気や老いにより、人生の終焉を迎える時期に提供される医療・看護・介護のことで、終末期医療に関する概念のひとつです。病気の診断時や命を意識し始めた時から提供されるケアであり、余命半年、月単位、週単位、日にち単位といった限られた最期にも提供されるケアでもあります。

疼痛や不安を和らげる緩和ケアに加えて、認知症や慢性疾患など幅広い疾患を対象に、本人、家族が症状や治療法を理解し、穏やかな最期を迎えられるような支援ができるよう、ぜひ活用してください。現在、新電子カルテに移行中のため、アップされるまでお待ちください。

「緩和ケアマニュアル 第2版」は、活用されていますか？
 End-Of-Lifeにある患者・家族への対応は、各看護単位に配布されている「緩和ケアマニュアル 第2版」（緑のファイル）に掲載されています。標準看護計画を立案する際、参考にしてください。

親の不適切なかかわりが、子どもの脳を傷つけています！

小児救急看護認定看護師 野崎久美（4階東病棟）

「マルトリートメント」をご存知ですか？日本語で「不適切な養育」と訳され、暴言や暴力など明らかな虐待や育児放棄だけでなく、子育てに熱心なあまり行き過ぎてしまう行為なども含み、虐待より広い概念です。例えば、子どもの前で繰り広げられる激しい夫婦喧嘩なども含みます。

最新の脳の研究では、子どもの脳は極度のストレスを感じると、その苦しみにから逃れようと自ら変形させ、成長してからうつ病や摂食障害などの精神障害や視覚野、聴覚野などに影響を起す可能性が明らかになりました。これらの脳の変形は、子どもたちが生き延びるための悲しい防御反応と考えられます。

マルトリートメントが起こる根底には「育児不安」や「ストレス」があります。子どもと親がそれぞれ出す小さなSOSを見逃さず、気づけるのは私たち看護師の子どもと親を見る目にかかっています。この小さなSOSをキャッチし、子どもの生命と安全を守ることはもちろん、親を含めた家族への適切な援助や支援につなげていくことが大切です。

「前頭前野」が縮小⇒感情のコントロールができない
 「視覚野」が肥大⇒会話力が低下
 「視覚野」が縮小⇒他人の表情が読み取れない
 語彙力、理解力などが低下